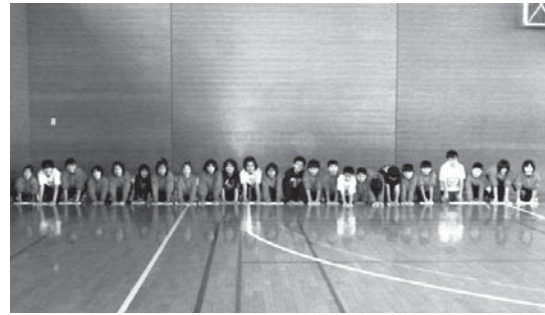


まちのわだい



1年間ありがとうの気持ちを込めて

1年間の感謝の気持ちを込めて

12月21日、国見バスケットボールスポーツ少年団の団員が毎年恒例の上野台運動公園の体育館の掃除を行いました。団員は28人で6年生は内10人。6年生は最後の掃除で「今までお世話になった気持ちを込めて」1年生から5年生は「日頃の感謝を込めて」との感想も聞かれ、父兄も一緒に一生懸命掃除を行っていました。



町長の年頭あいさつ

飛躍を誓う新春賀詞交歓会

1月6日、みらいホール国見で約160人が出席し賀詞交歓会が開催されました。太田久雄町長が「午年を飛躍の年にしたい」と新年のあいさつを述べた後、八島博正議会議長、大橋信夫JA伊達みらい組合長、岡崎長市商工会長があいさつを行い、阿部初男町内会長連絡協議会長の乾杯で始まり、一層の飛躍を誓いました。



ももたんも お・て・つ・だ・い

板橋南町内会 新年会（餅つき大会）

1月12日、板橋南コミュニティセンターで板橋南町内会の新年会が開催されました。当日は約100人の参加があり、毎年恒例の餅つき大会も行われました。子どもたちは「くにももたん」と一緒に杵でつく餅つきを体験し、つきあがった餅を口の中いっぱいほおぼったり、ビンゴゲームを楽しみました。



一家繁栄、豊かな生活の願いを込めて

小正月行事 藤田商店街で「団子さし」

1月20日、商工会で季節と生活文化を活かした「歳時記の商店街」の一環として、店主等約30人が集まり、みず木の枝に色とりどりのもちなどを付ける団子さしを作りました。出来上がった団子さしは各商店の店頭飾り付けられます。また、2・3月は商店街にひな人形を飾る予定で、季節の行事祝祭をとり入れ「あったかい気持ちになる場所」を商店街に開きます。



ホッカイロで寒さ対策を

駅前仮設住宅で 新年会（餅つき）

1月27日、駅前仮設住宅集会所で新年会が行われました。入居者の皆さんが集まり、手作りのお雑煮とあんこ餅等を作りました。国見町社会福祉協議会会長（太田久雄町長）から入居者の皆さんにカイロの贈呈があり、当日は太田久雄町長も手作りのお餅と一緒に食べながら、談笑を交え楽しい一時を過ごしました。



観月台文化センター前道路の除染の様子

道路除染を実施します

住宅除染を実施している山崎地区と西大枝地区の町道等17.3kmについて、除染を実施します。

主に、住宅地に接する道路が対象となり、山崎地区（山崎北・館・小館・宮館町内会が対象）では6.3km、西大枝地区（北部、中部、築館、並柳、原町町内会が対象）では10.9kmを実施します。

住宅除染に着手しているその他の地区においても、進捗状況に併せて道路除染に取り組みます。

道路除染の手法

箇所	主な手法
舗装面	回収型高圧洗浄
歩道・縁石	原則回収型高圧洗浄
路肩	除草、表土除去及び客土
法面	除草
側溝	堆積物の除去
未舗装面	砂利の洗浄若しくは砂利の入れ替え

※モニタリングにおいて空間線量率が0.23 μ sv/hを下回る場合には実施しません。

住宅除染の進捗状況

住宅除染の実施状況（1月31日現在）は次のとおりで、794件の住宅除染に取り組んでいます。

方部	事前モニタリング	三者打合せ	除染着手	除染完了	事後モニタリング
藤田部	354件	341件	297件	217件	174件
小坂部	137件	15件	-	-	-
森江野部	174件	158件	132件	60件	27件
大方部	129件	129件	129件	128件	128件
合計	794件	643件	558件	405件	329件

空間線量率対23年比 約48.7%減少

平成23年より毎年12月に環境放射線量率の測定を進めており、平成25年の結果が前ページの図のとおりです。主な数値は下表のとおりで、平成25年は平成23年と比較して、空間線量率の平均値で0.364 μ sv/h（48.7%）減少しました。

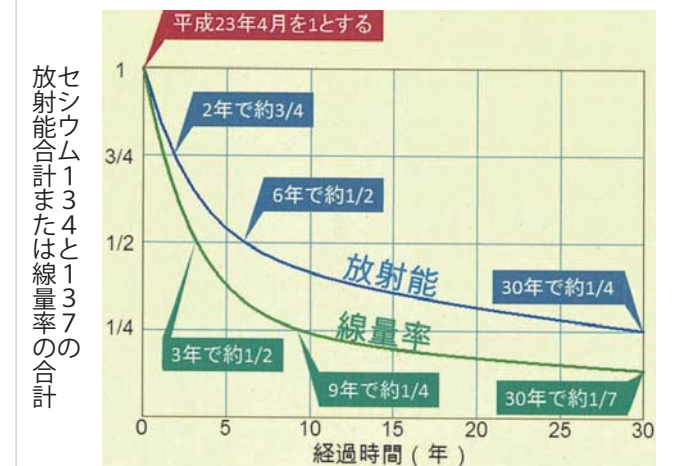
平成25年の結果では、平成24年に比較してす

年	23年	24年	25年
平均値	0.747	0.516	0.383
対H23年比		Δ 30.9%	Δ 48.7%
最大値	1.30	0.92	0.80
最小値	0.22	0.19	0.12

べての地点で線量の低下（ Δ 0.02～ Δ 0.53、平均 Δ 0.134 μ sv/h）が示されており、平成24年においても平成23年との比較で同様に低下（ Δ 0.01～ Δ 0.57、平均 Δ 0.231 μ sv/h）しています。

この傾向は放射性物質であるセシウムの半減期による減衰傾向と一致しており、3年間で空間線量率は約2分の1になっています。しかし、下図のとおり、今後低下する割合は鈍化し、9年で約4分の1、30年で約7分の1と、空間線量率の低下はあまり期待できなくなります。

このため町では、除染による放射性物質の除去を進め、早期に空間線量率を低くし、安全安心な生活空間の確保を目指していきます。



・平成23年4月のセシウム134とセシウム137の放射能比を1:1しての見積り